

■新発田市のあゆみ

昭和22年	1月	市制施行	昭和50年	4月	猿橋児童クラブ開設
昭和23年	3月	市消防署開庁	昭和51年	4月	御免町児童クラブ開設
	4月	五つの新制高校発足	昭和52年	4月	こうぬま児童クラブ開設
昭和24年	5月	市役所職階制による給与体系実施		7月	市民プール完成
昭和25年	3月	市公民館設立	昭和53年	4月	住吉児童クラブ開設
	8月	市内初の保育園開園。市営球場完成		6月	梅雨前線豪雨発生、建物被害など被害総額12億円
昭和26年	2月	国立新発田病院火災発生、第1病棟全焼	昭和55年	3月	加治、菅谷中学校閉校
昭和27年	4月	坪川 亘 平氏名誉市民となる		4月	市民文化会館・公民館完成。七葉中学校開校
	7月	梅雨前線豪雨発生、市内612町歩冠水	昭和56年	1月	豪雪により人的被害などが発生
昭和29年	1月	市消防署に火災専用電話119開設		3月	下中山、菅谷、石川小学校閉校
	4月	「市政だより」第1号発行		4月	統合「菅谷小学校」開校
	9月	市防犯組合結成		6月	梅雨前線豪雨発生、建物被害など被害総額35億9千万円
昭和30年	3月	五十公野、松浦、米倉、赤谷、川東、菅谷の6村を合併		8月	日韓スポーツ交流で訪韓団を派遣
昭和31年	3月	加治川村の一部を合併。国鉄白新線開通		10月	皇太子、同妃両殿下を迎え「市民の幸せを考える集い」開催
	4月	第一中学校火災発生、一部焼失	昭和57年	4月	二市北蒲原郡総合健康開発センター、市保健センター完成
	7月	梅雨前線豪雨発生、市内420町歩冠水	昭和58年	4月	新発田商工高校が南高校と商業高校に分離。青少年健全育成センターオープン
昭和32年	6月	新発田城表門、隅櫓、国の重要文化財に指定		10月	厚生省のヘルスパイオニアタウン事業に指定を受ける
昭和33年	7月	集中豪雨発生		11月	市公民館が優良公民館活動で文部大臣賞受賞
	9月	台風21号発生	昭和59年	1月	豪雪により建物被害などが発生
昭和34年	4月	佐々木村を合併。猿橋小学校開校。新発田城解体復元工事始まる		3月	国鉄赤谷線廃止。中野賞制定
	8月	御免町小学校新校舎完成		4月	タウンホームのぞみ工房、のぞみの家完成
昭和35年	4月	新市域に置かれた支所が廃止され出張所に。加治橋完成		5月	農業研修センター完成。五十公野公園野外活動施設オープン
	9月	台風18号発生		8月	駅地下道完成
昭和36年	8月	集中豪雨発生、市内128町歩冠水		10月	カルチャーセンターオープン。市健康づくり推進協議会が内閣総理大臣賞受賞
	9月	精神薄弱児施設いじみの学園完成、第2室戸台風発生		11月	新発田川放水路着工。新市立図書館オープン。新発田食品工業団地完成
昭和37年	4月	市内初の信号機設置。江口（五十公野）で大火、12戸全焼	昭和60年	1月	豪雪発生、人的・建物被害など被害総額6億5千万円
	5月	市立体育館完成		4月	特別養護老人ホーム「二の丸」完成
昭和38年	2月	豪雪による被害総額1億円に	昭和62年	3月	荒川小学校、松浦小学校閉校
昭和39年	3月	本丸中学校火災発生、特別教室焼失		4月	統合「松浦小学校」開校
	4月	市役所庁舎全焼。国道7号新発田バイパス完成。町名変更		5月	常陸宮、同妃両殿下を迎え、当市で「全国野鳥保護のつどい前夜祭」開催
	6月	新潟国体で当市も会場に。天皇陛下行幸啓。新潟地震発生		7月	蒨谷虹児記念館オープン。市の花にアヤメ、市の木にサクラを制定
昭和40年	11月	市役所新庁舎完成	昭和63年	4月	東豊小学校開校。東豊児童クラブ開設
昭和41年	7月	水害発生、人的・建物被害など被害総額54億9千万円		11月	水道局庁舎完成。市水道事業創設60周年記念式典
昭和42年	8月	羽越水害発生	平成元年	4月	山林火災発生、金山地内から出火し民有林・国有林を22ha焼失
昭和43年	2月	豪雪発生、市内交通機関などが麻痺		7月	五十公野公園あやめ園が「手作り郷土賞」を受賞。五十公野公園が「日本都市公園100選」に認定。建設省が加治川を桜づつみモデル事業に認定
	10月	広域ごみ焼却場、岡田に完成		9月	新新バイパス全線開通
	11月	勤労青少年ホーム完成		10月	五十公野サン・スポーツランドオープン
昭和44年	12月	足軽長屋、国の重要文化財に指定			
昭和46年	5月	板山放牧場完成			
	6月	集中豪雨発生、建物被害など被害総額7億円			
昭和48年	10月	新発田市休日診療所を開設（新発田市役所内）			
	11月	内の倉ダム竣工			
昭和49年	10月	加治川治水ダム竣工			

平成 2年	11月 大韓民国議政府市と友好都市協定を締結 2月 村尻遺跡出土品ヒト形土器、壺形土器が県の有形文化財・考古資料に指定 3月 五十公野森林館完成 6月 旧県知事公舎記念館オープン 11月 しばた台輪が天皇陛下御即位記念日本まつりパレードに参加。韓国議政府市へ第1回職員研修派遣	2月 韓国議政府市と第1回友好都市市政発展研究会開催 3月 正保越後国絵図、古絵図3点が県有形文化財古文書に指定 7月 滝谷森林公園宿泊棟オープン 11月 二市北蒲はいかいシルバーSOSネットワーク通信開始
平成 3年	12月 第1回市民表彰 3月 新発田東デイサービスセンター完成。清水谷庭園が県文化財記念物・名勝に指定 4月 敬和学園大学開校。ボランティアセンターオープン 7月 住吉コミュニティセンターオープン 9月 印鑑登録証（カード）による印鑑証明書の発行開始 10月 総合健康開発センターが厚生大臣表彰を受賞 11月 石川県加賀市と友好都市協定調印。市社会福祉協議会が厚生大臣賞を受賞	平成 9年 3月 人権擁護都市宣言 4月 菅谷・紫雲寺保育園開園。隣保館オープン 6月 サン・ビレッジしばたオープン。市制施行50周年記念式典開催。第4回世界・第40回全日本花いっぱい大会開催。第10回全国あやめサミット開催。防災安全都市宣言、核兵器廃絶平和都市宣言 10月 エフエムしばた開局。坂ノ沢C遺跡から石斧やたて穴住居、石器群発掘 11月 市保健自治会が自治大臣表彰を受ける
平成 4年	4月 新潟職業能力開発短期大学校開校。五十公野公園野球場オープン。五十公野児童クラブ開設 5月 ふるさと会館（現在の五十公野コミュニティセンター）オープン 8月 麓谷虹児記念館が公共建築賞優秀賞受賞	平成 10年 3月 コモタウン」オープン 4月 学校給食北共同調理場オープン。市庁舎時間禁煙実施。新発田広域クリーンセンターオープン。安兵衛の松2世植樹 5月 忠臣蔵サミット開催。城下町伝統文化展開催 6月 「城下町新発田400年のあゆみ」発刊。市緑・花振興局協会が内閣総理大臣表彰を受ける 7月 市防災協会設立 8月 市水道事業創設70周年記念「水道フェスティバル」開催。8.4水害発生、建物被害など被害総額7億2千万円。野外劇「この豊かなる大地の讃歌」公演 9月 新発田藩初代藩主ブロンズ像建立 10月 全国「花嫁人形」合唱コンクール、全国「花嫁」手紙コンクール開催
平成 5年	1月 高齢者レクリエーションセンターオープン 2月 市消防団が日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞 4月 訪問看護ステーション、在宅介護支援センターオープン。市立図書館で本の貸し出し等に電算機利用開始。県植樹祭が五十公野公園で開催 6月 滝谷森林公園一部オープン 9月 加治川児童館開設 10月 生涯学習センターオープン。廃棄物減量等推進員を設置。厚生省の「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業」に指定 12月 勤労者福祉センター（サン・ワークしばた）オープン	平成11年 11月 麓谷虹児記念館が「公共建築百選」に 2月 新発田育英会学生寮竣工 4月 天ノ原保育園開園。学校給食川東共同調理場オープン。市情報公開条例、市個人情報保護条例施行。市都市マスタープラン完成。佐々木コミュニティセンターオープン。中井デイサービスセンターオープン。佐々木児童クラブ開設 5月 知的障害者授産施設「希望の家」竣工 7月 市下水道事業審議会スタート 8月 旧市営野球場用地と新発田駐屯地営前訓練場用地一部交換。武家屋敷を市の文化財に指定 10月 韓国議政府市との友好都市協定10周年記念事業開催 11月 家庭ごみ収集有料化スタート。しばた台輪が天皇陛下御即位10周年奉祝祝賀パレードに参加
平成 6年	4月 新発田西デイサービスセンターオープン 8月 新発田温泉「あやめの湯」オープン	平成12年 1月 新発田温泉「あやめの湯」入場者50万人達成
平成 7年	1月 松浦小学校が全国交通安全優良校として表彰 4月 新発田北デイサービスセンターオープン。新潟県北部地震発生、県指定文化財市島邸住宅「湖月閣」倒壊 6月 アメリカ合衆国アイオワ州オレンジシティと姉妹都市協定調印。赤谷サイクリングロードが全国街路事業コンクールで特別賞受賞 7月 自転車等放置防止及び自転車等駐車場条例施工 10月 在宅福祉事業功労で厚生大臣表彰を受ける 11月 新発田川放水路暫定通水	
平成 8年	1月 住民参加によるまちづくり部門で自治大臣表彰を受ける	

	2月 県立新発田病院整備促進期成同盟会設立		4月 精神障害者授産施設「夢工房しば草」オープン。新発田城三階櫓・辰巳櫓上棟式、上棟祭開催。豊町ふれあいコミュニティセンター、猿橋コミュニティセンターオープン
	3月 「新発田市中心市街地活性化基本計画」策定。御免町幼稚園新園舎完成。新発田川放水路事業完成。市勤労青少年ホーム閉館		7月 豊浦町と合併。名球会“あなたのまちに名球会がやってくる”新発田大会開催
	4月 豊浦保育園開園。新発田南デイサービスセンターオープン。七葉児童クラブ開設		8月 清水園庭園・五十公野御茶屋庭園国指定名勝に指定
	5月 市行政改革推進本部設置		9月 新発田温泉あやめの湯足湯オープン
	6月 粗大ごみ戸別収集・白色トレイの店頭回収開始。市自治会連合会設立		12月 新発田市・紫雲寺町・加治川村合併協議会設置。新発田駅前土地区画整理事業開始
	8月 広島平和記念式典に中学生3人派遣。大相撲新発田場所開催。住吉町花と緑の会が緑化推進運動功労者として内閣総理大臣表彰を受ける	平成16年	2月 県立新発田病院移転建築工事着工
	9月 市まちづくり総合計画基本構想完成。市防災フェスティバル2000開催		3月 新発田南バイパス開通
	10月 環境美化推進条例施行		4月 川東保育園開園。地域交流センター（きやり館）オープン。新発田城址公園リニューアルオープン。滝谷森林公園対岸デイキャンプ場オープン。紫雲寺児童館開設
	11月 羽越本線新幹線直通促進新潟地区期成同盟会設立		5月 まちづくり出前講座開始
平成13年	2月 市ホームページ改訂。市長への手紙、市政懇談会開始。市行政改革推進計画策定		6月 新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた文化の祭典」開催
	3月 市まちづくり総合計画基本計画・実施計画策定。市農村マスタープラン策定。猿橋小学校新校舎竣工		7月 新発田城三階櫓・辰巳櫓開場式開催。新発田市菓「あやめ城・三階櫓」販売開始。新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「ページェントしばた2004～道学共創～」開催。「しばたっ子台輪」完成・お披露目パレード。7.13新潟・福島豪雨災害発生、道路・農林水産施設被害など被害総額約1,850万円
	4月 市総合健康福祉センター「いきいき館」オープン。環境基本条例制定。「新潟2001年宇宙の旅」に3台の金魚台輪が参加		10月 中越地震発生
	6月 旧赤谷線「歴史探勝の道」全線開通。古タイヤ火災発生、真野原外地内から出火し松林47ha、古タイヤ約2万2千本焼失		11月 商工会議所分館「まちの駅」オープン
	7月 市民ギャラリーオープン	平成17年	1月 新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた全国雑煮合戦」開催
	10月 米倉ふれあいロードパーク「ねむの木広場」オープン		3月 杉山義法氏追悼公演「よろけ養安」公演
	11月 県営大規模湛水防除事業新発田Ⅰ、Ⅱ期地区県営かんがい排水事業五十公野地区竣工。市環境率先実行計画～エコシフト21～策定。諏訪神社火災発生、本殿及び市指定文化財などが焼失		4月 地域交流センター屋内ホール（あおり館）オープン。市立図書館が「こども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞
平成14年	4月 うすが森保育園開園。御幸町ふれあいコミュニティセンターオープン。新発田中央公園幼児ゾーンオープン		5月 紫雲寺町・加治川村と合併。紫雲寺町よりアメリカ合衆国ミズーリ州セントジェームズ市、長野県須坂市、加治川村より韓国全谷邑との友好都市・姉妹都市協定を継承。紫雲寺・加治川児童クラブ開設
	5月 日本海東北自動車道「新潟空港IC～聖籠新発田IC」区間開通		6月 米倉有機資源センター、加治川有機資源センター完成。水害発生、8地区314世帯1,182人に避難勧告
	7月 五十公野公園陸上競技場「グリーンスタジアムしばた」竣工		7月 三国コカ・コーラボトリング(株)と災害救援協定締結。板山有機資源センター完成
	9月 新発田市・豊浦町合併協議会設置		10月 「景観行政団体」に認定
	10月 高速道路日本海東北自動車道「聖籠新発田IC～中条IC」区間開通。新発田市公共下水道供用開始		12月 新潟大停電発生、下越地方を中心に65万戸が停電
平成15年	1月 「新発田駅前・中心市街地活性化地区移動円滑化基本構想」策定	平成18年	1月 佐藤食品工業(株)、(株)伊藤商店と災害救援協定締結
	2月 県立新発田病院、リウマチセンター、附属看護専門学校の基本設計概要発表。市ファミリーサポートセンター開設		2月 NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ発足。新発田城が「日本100名城」に選ばれる
	3月 新発田市環境基本計画策定		

- 3月 城下町しばたもちもち会発会。西新発田五十公野線の一部（本町～東新町）開通
- 4月 新発田市まちづくり総合計画・中期基本計画、新発田市行政改革推進計画（後期計画）策定。寺町たまり駅、中央町たまり駅、諏訪町たまり駅オープン。地域包括支援センター（中央・東・西・南・北の5か所）設置。有機の里交流センターオープン。菅谷コミュニティセンターオープン。学校給食西共同調理場完成。松浦・豊浦児童クラブ開設
- 7月 イオン(株)ジャスコ新発田店、県石油商業組合、北蒲原支部新発田支会、県LPガス協会新発田支部、NPO法人コメリ災害対策センターと災害救援協定締結。「しばたっ子食農給食特区」に認定。豪雨発生、新荒川地区の8世帯25人に避難勧告
- 9月 「広報しばた」有料広告掲載開始
- 10月 新発田市コミュニティバス運行開始。新発田城址公園が「日本の歴史公園100選」に選ばれる。城下町しばた歴史ウォーク開催
- 11月 県立新発田病院が移転開院。「まちの駅よろず新発田学研究センター」オープン。市街地循環バス実証実験運行開始
- 平成19年 1月 第1回健康づくり大学開催。市所蔵アートコレクション展開催
- 3月 新発田市観光振興基本計画」策定
- 4月 キッズ陽だまり園開園。「市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例」施行。地域交流センター・紫雲の郷館指定管理者制度導入。幼保一元化施設「西園すこやか園」オープン
- 5月 「新発田市ハザードマップ」作成。養護老人ホーム「あやめ寮」移転オープン
- 6月 「新発田あんしんメール」配信サービス開始。緊急告知FMラジオ装置配備開始。紫雲の郷入館者100万人達成
- 7月 市ホームページ改訂。新発田市コミュニティバスに有料広告掲載開始。「食のアスパラ横丁 味めぐり」実施。中越沖地震発生
- 8月 市ホームページに有料広告掲載開始。食のまちづくり・しばたリレートーク開催。新発田駅前広場オープン
- 10月 市立図書館の運営業務を一部委託。石崎家住宅「石泉荘」が登録有形文化財に認定
- 11月 しばたっ子わくわく通学合宿開始
- 12月 市都市マスタープラン改訂
- 平成20年 2月 竹ヶ花地区の蚤取橋・神明裏遺跡から丸木梯子・剣形木製品など出土。新発田温泉あやめの湯入館100万人達成
- 3月 「新発田市景観計画」策定。市農村マスタープラン改訂。加治川・中川・新金塚小学校閉校。三の丸・清水谷・南保育園閉園。中倉保育所閉所。新新バイパス新発田IC立体化（上り線）開通
- 4月 優の森・三の丸保育園開園。加治川・中川・新金塚小学校が統合し「加治川小学校」が開校。「観光イベントバス」運行開始。市島邸が市直営に移管。コメリパワー新発田店と災害救援協定締結
- 5月 月岡温泉月姫広場に足湯完成
- 6月 電子申請システム稼働。公共施設予約システム稼働
- 7月 「新発田市景観計画」施行
- 9月 全国瞬時警報システム（J-ALERT）運用開始
市水道事業創設80周年記念イベント開催（ボトルドウォーター「源泉滾々」配布）
- 10月 「復活 新発田 十二斎市」開催
- 平成21年 1月 「新発田市食の循環によるまちづくり条例」施行
- 3月 「新発田市地域公共交通総合連携計画」策定。「新発田市水道ビジョン」策定
- 4月 「新発田市議会基本条例」施行。水道料金・下水道使用料のコンビニ納付開始。水道水源保護地域を指定。ふるさと会館閉館。「県立新発田病院跡地整備構想」策定。「新発田市政における法令遵守の推進等に関する条例」施行。落谷虹児記念館が市直営に移管。あそびの森すみよし保育園開園。川東児童クラブ開設
- 7月 「新発田市中心市街地活性化推進条例」施行。新発田城三階櫓・辰巳櫓復元5周年記念「三階櫓見学会」開催
- 9月 市内全小・中学校で「日本語」授業開始。新新バイパス新発田IC立体化（下り線）開通。第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」開催、市内ではゴルフ、サッカー、ラグビーフットボールが開催され、29日に高円宮妃殿下が五十公野陸上競技場にお成り
- 10月 5日に秋篠宮、同妃両殿下がカリオン文化館（刀剣伝承館）にお成り。第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」（市内ではサッカー）開催、10日に皇太子殿下が中央公園多目的広場に行啓
- 11月 「天皇陛下御即位20年をお祝いする国民祭典・第1部奉祝まつり」に上町・下町・四ノ町・両町の「しばた台輪」4台が参加。市の部署の一部が「市役所別館」に移転
- 12月 「新発田市食の循環によるまちづくり推進計画」策定
- 平成22年 2月 「新発田市民 暮らしの便利帳」発行
- 4月 ななは保育園開園。総務課内に「新庁舎建設室」開設。東豊第2・外ヶ輪・猿橋第2・御免町第2児童クラブ開設。加治川コミュニティセンター（旧新金塚小学校）開設
- 5月 紫雲寺中学校竣工。林道新発田南部線開通。「議会報告会」を市内10か所で初開催
- 6月 「食の循環によるまちづくり」の大使に、俳優の永島敏行さんが決定

	8月	ロボット格闘技大会「ロボワン in 新発田」開催			田市農業研修センターが新発田市農業サポートセンターにリニューアル。千葉県浦安市と「災害時における相互応援に関する協定」締結
	9月	「食の循環しばた モッタイナイ運動」開始。			
		「新発田市核兵器廃絶平和推進基本条例」施行	6月		村尻遺跡出土品が国重要文化財に指定。新発田市名誉市民 重要無形文化財保持者である、刀匠・天田昭次氏が逝去
	10月	「しばたのおかず ～郷土の食材と料理～」(開港舎) 発行			
	11月	「新発田市新庁舎建設基本構想」策定	8月		「新発田市名誉市民 重要無形文化財保持者故 天田昭次先生お別れの会」を執り行う。併せて、遺作展を開催
平成23年	1月	「市長等の給料の特例に関する条例」施行			
	2月	TBSドラマ「3年B組 金八先生」の収録が新発田城などで行われる	9月		「新発田市中心市街地活性化基本計画」全部改訂。「新発田駅前複合施設整備基本方針」策定。子育て応援カード事業「しばたし子育てきらきらカード」発行。農業サポート人材バンク開始
	3月	東日本大震災発生、カルチャーセンター及びサン・ビレッジしばたを一次避難所として開設。新発田幼稚園閉園。財団法人「新発田市まちづくり振興公社」解散	10月		「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」開始。新しい松塚漁港が開港、松塚漁港まつり開催
	4月	新発田市観光協会設立。市民相談センター開設。救急診療所・休日救急歯科診療所が移転。あい保育園・まごころ保育園しばた開園。「新発田市新庁舎建設に関する全世帯アンケート」実施。一次避難所を閉鎖し、月岡温泉の旅館・ホテル11施設を二次避難所として開設	11月		義士親善友好都市交流会議(忠臣蔵サミット)開催。しばた軽トラ市初開催。新発田駅リニューアル
	5月	はつらつ仕事館開設	平成26年	1月	赤穂四十七士木像47躯及び長徳寺義士堂1棟、附「義士堂扁額」、天井書画、堀部安兵衛銅像、「萬山不重」額を市の有形文化財歴史資料に指定。山草荷遺跡出土弥生土器19点を市の有形文化財考古資料に指定。旧会津街道松並木を市の天然記念物に指定。新発田ブランド認証審査会開催、10品が認証される
	6月	「新発田市民のきずなを深め『いのち』を守る条例」施行	2月		清水園内に「堀部安兵衛伝承館」開館
	9月	「国際ご当地グルメグランプリ in月岡温泉」開催。2日間で約5万9000人が来場	3月		市道五十公野バイパス線開通。川東・竹俣・車野小学校開校。佐々木保育園閉園
	10月	市立図書館の運営業務を直営化	4月		川東・竹俣・車野小学校が統合し「川東小学校」が開校。七葉コミュニティセンターオープン。川東コミュニティバス運行開始。旧県知事公舎記念館が食の迎賓館にリニューアル。しばたん観光バス運行開始。し尿処理施設「新発田クリーンアップいなほ」稼働開始。あやめこども園開園
	11月	市内在住のバンド「桑名シオンwithパタヤビーチボーイズ」による市応援ソング「Smile」が完成・CD化	5月		陸上自衛隊新発田駐屯地「白壁兵舎広報史料館」リニューアルオープン。月岡温泉開湯百年祭開催、「手湯の杜」「プレミアムSAKE蔵」オープン
	12月	「新発田市新庁舎建設基本計画」策定。「紫雲閣」が市指定有形文化財・建造物に指定	6月		市民公開地理情報システム運用開始。あやめサミットin新発田開催。旧竹俣小学校の校舎を活用した「県立村上特別支援学級いじみの分校竹俣校」が開校
平成24年	2月	市ホームページ改訂	7月		新発田城三階櫓・辰巳櫓復元10周年記念「三階櫓見学会」開催
	4月	「新発田市まちづくり総合計画」基本構想・基本計画・実施計画を策定。市街地循環バスが本格運行を開始。名称は、市民公募の結果「あやめバス」に決定	8月		新庁舎建設工事開始。新発田市に合った人口減少問題対策を検討する「未来創造プロジェクトチーム」が始動。映画「ストロボ・エッジ」の撮影が県立新発田高等学校などで行われる
	5月	「新発田市民 暮らしの便利帳2012」発行			
	7月	「新発田市暴力団排除条例」施行。「韓日ハンマウム(絆) フェスティバル～東日本大震災市避難者激励のつどい～NANTA公演」を駐新潟大韓民国総領事館とともに開催			
	8月	救急医療キットの配布開始。県立旧新発田病院解体工事に伴う掘削作業中に、新発田城二ノ丸の土橋石垣を発見			
	9月	羽越本線が開通100周年を迎える			
	10月	「食King Agakita+」開催			
	11月	新発田駅 駅東地下通路の改修工事が完了			
平成25年	2月	新発田市出身の赤穂義士・堀部安兵衛を顕彰する市民の会「武庸会」が設立100周年を迎える			
	3月	国道290号荒町バイパスが開通。「新発田市新エネルギービジョン」策定			
	5月	「新発田市地域福祉(活動)計画」策定。新発			

平成27年	10月 新発田駅前複合施設建設工事開始。「天田昭次記念館」オープン。日本そば博覧会開催	5月 「新発田市新庁舎開庁・市制施行70周年記念式典」開催
	2月 子育てきらきらメール配信開始	7月 「新発田市空家等の適切な管理に関する条例」改正
	3月 赤谷小学校閉校、米倉小学校に統合	10月 「新発田市地域づくり支援センター」が、ヨリネスしばたとボランティアセンターにオープン。「子ども発達相談室」が猿橋コミュニティセンター2階内に移転。エフエムしばた開局20周年記念式典開催
	4月 認定こども園わかば幼稚園開園。住吉第2児童クラブ開設	11月 「知事とのタウンミーティング」開催
	5月 パリの日本文化会館で「蕨谷虹児展」開催。「新発田市漁業共同利用施設（おさかな市場）」オープン	平成30年 3月 市ホームページを全面改訂し、新ホームページ公開。松浦・五十公野・米倉小学校閉校。国保紫雲寺診療所閉院。「新発田市空家等対策計画」策定、新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョンを改定
	7月 乳児園はるにれ・めばえ保育園開園	4月 松浦・五十公野・米倉小学校が統合し、東小学校が開校。認定こども園あいこども園開園。「新発田市ハザードマップ」更新。松浦地区デマンド（予約型）乗合タクシー「まつうら号」実証運行開始
	9月 「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏構想」において、新発田市が中心市宣言を行う	7月 「新発田市立歴史図書館」オープン。新発田駅前複合施設（イクネスしばた）内に「10代の居場所カフェ」オープン
	10月 新発田市人口ビジョン・新発田魅力創造戦略を策定、パルクids陽だまり園開園	10月 エンジェルkids陽だまり園開園。「日韓美術交流展」開催。新発田駅前複合施設（イクネスしばた）で来館者が100万人達成
平成28年	12月 「認知症カフェ よ・らっしえ」オープン	平成31年 3月 健康長寿アクティブプラン策定
	3月 新発田市まちづくり総合計画を改定、紫雲寺支所を健康プラザしうんじ内に移転、「まちなかの駅」閉館	4月 「松浦屋内多目的運動場」オープン
	4月 「アイネスしばた」開園。あおばこども園・認定こども園東幼稚園・認定こども園優の森保育園・認定こども園あそびの森すみよし保育園開園。新発田市環境基本計画（第2次）策定。「新発田市水道局料金センター」設置。御免町第3児童クラブ開設。「新生しばた記念事業～新たなる100年に向けて～」を開始	令和元年 5月 「令和」に年号改元
	7月 「新発田駅前複合施設（イクネスしばた）」オープン。イクネスしばた内に旧図書館が移転、中央図書館オープン。「青少年宿泊施設（あかたにの家）」オープン。都市計画道路「西新発田五十公野線」の中環状道路部全通	7月 新潟食料農業大学と包括的連携に関する協定を締結
	9月 川東コミュニティセンターオープン、新発田市農業サポートセンターを同コミュニティセンター内に移転	10月 第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術文化祭にいがた大会で当市は将棋フェスティバルを開催
	10月 「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏形成協定」を締結	11月 天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典奉祝まつりに「新発田台輪」参加
	11月 「しばた・ときめき体操」DVD完成。新発田市農業サポートセンター取り壊し	令和 2年 3月 新発田市まちづくり総合計画・新発田魅力創造戦略・新発田市行政改革大綱を改定、新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョンを改定
平成29年	12月 旧市庁舎閉庁	西園幼稚園・西園保育園・ひまわり学園閉園
	1月 ヨリネスしばた開庁。エフエムしばた「ヨリネス街角スタジオ」オープン	令和 2年 4月 「健康長寿アクティブ交流センター」・「ふれあい福祉センター」オープン。私立西園保育園・ひまわり学園・認定こども園ルンビニ保育園開園
	2月 新発田市歌「虹の橋をわたって」が完成。新潟職業能力開発短期大学校と「包括的連携に関する協定」を締結	
	3月 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョンを策定、新発田市都市計画マスタープラン改定、新発田市立地適正化計画策定。新発田市地域公共交通網形成計画策定。都市計画道路「五十公野公園荒町線」の豊町ー荒町間の開通により、外環状道路全通。「新潟広域都市圏」連携協約を締結	
	4月 「暮らしのガイド」発行。認定こども園新発田聖母こども園開園。介護保険サービスの一部が移行し、総合事業がスタート。新発田市消費生活センター設置（市民相談センターと併設）	